令和８年度事業計画（案）

令和８年度は、本協会が発足して９０年を迎え、これまでの協会運営、事業の遂行、また強化での輝かしい功績に感謝するとともに、今後２０年、３０年後を見据えた協会を創っていく。

運営面では、本年度も各都道府県並びに関係諸団体・組織との連携・協力のもと、ウエイトリフティング競技の発展と普及を図るために各種事業を推進する。そして、本協会の計画、実行、そして振り返りのＰＤＣＡを実施する。また、引き続き本協会が策定した「スポーツ競技団体ガバナンスコード」により、継続的に健全な組織団体としての運営を目指し、中・長期計画を実行し、選手強化、競技人口の拡大、国際レベルの競技運営能力、国際発信力の向上並びに財政の確立等を行っていく。更に、ガバナンスの向上を深め、社会的責任を自覚し、公益社団法人としての使命を果たす。

強化面では、本年９月に愛知県名古屋市で開催の「第２０回アジア競技大会」でのメダル獲得の目標、また１０月に新階級で実施される世界選手権大会が２０２８ロサンゼルスオリンピックの予選大会としてスタートし、ロサンゼルスオリンピックで「男女でのメダル獲得」を目指し、それに伴う強化事業を計画した。そのためには、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）の事業連携と味の素ナショナルトレーニングセンター（NTC）及び国立スポーツ科学センター（JISS）の活用、そして選手及びスタッフが万全の態勢で臨めるように事業を進める。毎年作成している強化戦略プランに基づき強化を進める。

また、恒久的にオリンピック競技大会や世界で活躍できる選手を育成するため、ナショナルトレーニングシステム（競技者育成プログラム）の充実を図り、２０３２年ブリスベンオリンピック大会以降の対策として若手選手育成事業も継続していく。併せて普及活動の一環として、小・中学生の素材のあるタレント発掘・育成も進めていく。

そして上記記載のアジア最大のイベントである「第２０回アジア競技大会」の大会成功を目的に、２０２０東京オリンピック同様に本協会と実行委員会、愛知県及び名古屋市と連携を密にとり、準備を進める。

【公益事業】

Ⅰ.競技力向上事業

１．選手強化事業

競技者が人間の可能性の極限を追求し、国内外の競技会等で活躍することは、国民に誇りや喜び、夢と感動をもたらすと同時に競技の普及・振興に寄与するものである。この目的達成のために、以下の選手強化及び指導者育成に取り組む。また、スポーツ医科学の面から支援する必要があり、ハイパフォーマンススポーツセンターの各種サポートを活用し、効果的な事業を展開する。

(1)国内合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、強化拠点である「味の素ナショナルトレーニングセンター専用練習場」を中心に、国際競技力の向上を目標に実施する。

また、９月開催の「第２０回アジア競技大会」及び２０２８ロサンゼルス、２０３２ブリスベンオリンピック対策として、ナショナル及び次世代選手育成の強化を推進する。

〔ナショナル合宿〕

| No | 合　宿　名 | 期　間 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| １ | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 6/11～6/17 | 東京都　NTC |
| ２ | 国内合宿　ナショナル合宿男子 | 6/15～6/24 | 東京都　NTC |
| ３ | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 7/ 9～7/15 | 東京都　NTC |
| ４ | 国内合宿　ナショナル合宿男子 | 7/15～7/22 | 東京都　NTC |
| ５ | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 8/ 1～8/ 7 | 東京都　NTC |
| ６ | 国内合宿　ナショナル合宿男子 | 8/10～8/19 | 東京都　NTC |
| ７ | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 8/26～9/ 1 | 東京都　NTC |
| ８ | 国内合宿　アジア競技大会事前合宿 | 9/14～9/22 | 東京都　NTC |
| ９ | 国内合宿　世界選手権大会事前合宿 | 10/19～11/ 2 | 東京都　NTC |
| 10 | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 12/13～12/19 | 東京都　NTC |
| 11 | 国内合宿　ナショナル合宿男子 | 12/16～12/23 | 東京都　NTC |
| 12 | 国内合宿　ナショナル合宿男子 | 1/ 6～ 1/13 | 東京都　NTC |
| 13 | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 1/12～ 1/19 | 沖縄県　国頭村 |
| 14 | 国内合宿　ナショナル合宿男子 | 2/ 1～ 2/ 6 | 静岡県　静岡市 |
| 15 | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 2/ 8～ 2/14 | 東京都　NTC |
| 16 | 国内合宿　ナショナル合宿女子 | 3/ 2～ 3/ 9 | 東京都　NTC |

17 国内合宿　ナショナル合宿男子　3/10～ 3/17　東京都　NTC

〔次世代育成合宿〕

| No | 合　宿　名 | 期　間 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| 1 | 次世代合宿　世界ジュニア代表合宿 | 4/27～ 4/30 | 東京都　NTC |
| 2 | 次世代合宿　大学生選抜合宿 | 6/ 8～ 6/13 | 東京都　NTC |
| 3 | 次世代合宿　中学生合宿① | 7/ 4～ 7/ 5 | 東京都　NTC |
| 4 | 次世代合宿　大学生女子合宿 | 7/ 9～ 7/15 | 東京都　NTC |
| 5 | 次世代合宿　大学生男子合宿 | 7/15～ 7/22 | 東京都　NTC |
| 6 | 次世代合宿　ｱｼﾞｱﾕｰｽｼﾞｭﾆｱ事前合宿 | 8/ 2～ 8/ 5 | 東京都　NTC |
| 7 | 次世代合宿　大学生男子合宿 | 8/10～ 8/19 | 東京都　NTC |
| 8 | 次世代合宿　日韓中 Jr 交流会事前合宿 | 8/21～ 8/23 | 佐賀県　有田町 |
| 9 | 次世代合宿　ジュニア選抜合宿 | 8/24～ 8/30 | 新潟県　津南町 |
| 10 | 次世代合宿　世界大学事前合宿 | 9/ 3～ 9/ 5 | 東京都　NTC |
| 11 | 次世代合宿　中学生合宿② | 11/ 7～11/ 8 | 東京都　NTC |
| 12 | 次世代合宿　大学生男子合宿 | 1/ 6～ 1/13 | 東京都　NTC |
| 13 | 次世代合宿　大学生女子合宿 | 2/ 8～ 2/14 | 東京都　NTC |
| 14 | 次世代合宿　ジュニア選抜合宿 | 2/20～ 2/26 | 東京都　NTC |

〔研修合宿〕

| No | 合　宿　名 | 期　間 | 場　所 |
|---|---|---|---|
| 1 | 国内合宿　大学生研修合宿 | 5/11～ 5/14 | 東京都　NTC |
| 2 | 国内合宿　中学生・高１研修合宿 | 8/21～ 8/23 | 東京都　NTC |
| 3 | 国内合宿　ジュニアユース研修合宿 | 12/23～12/26 | 東京都　NTC |
| 4 | 国内合宿　ジュニアエリート研修合宿 | 12/23～12/27 | 東京都　NTC |

(2)海外合宿

公益財団法人日本オリンピック委員会の補助事業として、国際力（国際人の養成）及び国際競技力の向上を目標に実施する。

合宿名　：大学生海外研修合宿（米国）
期　間　：令和９年２月１１日～２月１９日
場　所　：アメリカ合宿国　ルイジアナ州立大学シュリーブポート校
参加者　：指導者２名、選手５名、計７名

(3)国際競技会への派遣

国際競技力の評価は、国際競技会での成績が中心となる。本会は、恒久的オリンピック選手育成の観点（一定レベルの競技力を有する）から、年代別の競技会に優秀選手を次の大会へ派遣し競技力の向上に資する。

①２０２６アジア選手権大会「ＮＦ強化事業」
開催期間　：令和８年４月　１日（木）～４月１０日（金）
場　　所　：インド共和国　ガンディナガル市
派遣人数　：指導者４名、男子選手２名、女子選手２名、計８名

②２０２６世界ジュニア選手権大会「次世代育成事業」
開催期間　：令和８年５月　２日（土）～５月　８日（金）
場　　所　：エジプト国　イスマイリア市
派遣人数　：指導者４名、男子選手４名、女子選手４名、計１２名

③２０２６アジアユース・ジュニア選手権大会「次世代育成事業」
開催期間　：令和８年８月　７日（金）～８月１４日（金）
場　　所　：ウズベキスタン共和国　タシケント市
派遣人数　：指導者４名、男子選手３名、女子選手３名、計１０名

④２０２６世界大学選手権大会「次世代育成事業」
開催期間　：令和８年９月　８日（火）～９月１２日（土）
場　　所　：カタール国　ドーハ市
派遣人数　：指導者４名、男子選手３名、女子選手３名、計１０名

⑤２０２６世界選手権大会「ＮＦ強化事業」
開催期間　：令和８年１０月２７日（火）～１１月　８日（日）
場　　所　：中国　寧波市

派遣人数　：指導者１０名、男子選手８名、女子選手８名、計２６名

⑥２０２７世界ユース選手権大会「次世代育成事業」

開催期間　：令和９年３月予定

場　　所　：パラグアイ共和国　アスシオン県

派遣人数　：指導者３名、男子選手２名、女子選手２名、計７名

(4)国際大会(国内)開催

①日韓中フレンドシップ大会

開催期間　：令和８年５月２９日（金)・３０日（土）

場　　所　：愛知県　名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」

派遣人数　：指導者６名、男子選手８名、女子選手８名、計２２名

②日韓中ジュニア交流競技会

開催期間　：令和８年８月２６日（水)・２７日（木）

場　　所　：佐賀県　有田町　焼の博記念堂

派遣人数　：指導者５名、男子選手８名、女子選手８名、計２１名

③第２０回アジア競技大会

開催期間　：令和８年９月２３日（水）～９月２９日（火）

場　　所　：愛知県　名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」

派遣人数　：指導者６名、男子選手５名、女子選手５名、計１６名

(5)スポーツ医・科学研究事業との連携に基づく強化

①日本スポーツ振興センター（ＪＳＣ)・国立スポーツ科学センター（ＪＩＳＳ)・日本オリンピック委員会（ＪＯＣ）よりのハイパフォーマンス事業を受ける。

ア）栄養、心理、トレーニング、情報、科学の各分野が連携した医・科学支援を継続して依頼する。

イ）ウエイトリフティングの技術について、国内・外大会でのビデオ撮影を依頼し、動作分析して、選手・指導者へのフィードバックをすると共に、その内容について、全国指導者研修会・会報等を通して周知を図り競技力の向上に資する。

ウ）フィットネスの面では、体力の把握に基づくトレーニング効果の検証とトレーニングの方向性の客観的指標の提示を依頼する。

②ミズノスポーツ振興財団の助成により、ウエイトリフティング選手の競技会での外傷調査、整形外科及び内科疾患の関りについて次の調査研究を実施する。

・主要競技会での救護体制強化と外傷・障害の発生頻度の調査・分析を行う。

・競技と整形外科疾患の相関性に関する継続的な研究。

・内科疾患に焦点を当てた調査。

(6)ハイパフォーマンスディレクター及びナショナルコーチ等の推薦

公益財団法人日本オリンピック委員会の事業制度を活用し、中・長期的な強化戦略プランを計画・立案・策定し、競技団体強化責任者として強化活動を統括する。ハイパフォーマンスディレクター（ＨＰＤ）等の推薦、また、味の素ナショナルトレーニングセンター専用施設の有効活用と選手強化のコーチングの任に当たるコーチ等設置事業制度を活用し、ナショナルヘッドコーチ、ナショナルチームコーチ等を推薦する。

２．コーチの資質向上を目的とする事業

(1)全国指導者研修会

ウエイトリフティング指導者の資質と指導力の向上及び指導者間の情報交換や連携を図ることを目的に開催する。

期　日　　令和９年２月１３日(土)・１４日(日)

会　場　　味の素ナショナルトレーニングセンター

講　師　　５名、　参加者５０名(予定)

(2)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者専門教科講習会講師の派遣

日本スポーツ協会の委託事業として次の事業を実施する。

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者「コーチ３」養成（専門科目）講習会

期　日　　１回目　令和８年１１月１３日(金)～１１月１５日(日)

２回目　令和９年　１月　９日(土)～　１月１２日(月)

時　間　　４０時間

会　場　　味の素ナショナルトレーニングセンター

講　師　　８名、　受講者２５名(予定)

(3)「ＪＷＡ×ＮＳＣＡジャパン　ウエイトリフティング実技検定」指導者育成事業

令和５年度よりスタートした表記検定は、ＮＳＣＡ(ナショナル・ストレングス and コンディショニング協会)とウエイトリフティング指導者育成事業で本競技種目、補助種目の実技が教えられることから、これらの受講者に対し、正しいトレーニング技術を教える事業内容の充実を行う。

Ⅱ．競技者育成事業

１．研修合宿開催

一貫指導システム(ナショナルトレーニングシステム)の理念と方法に基づき、競技者の発掘及び育成を図ることを目的に次の研修合宿を実施する。

この事業は、(スポーツ振興くじ助成事業)として補助を受けて開催する。

(1)大学生研修合宿(スペリオリティー)

各種競技会の成績を基に、ジュニア年代の学生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。

期　間　：令和８年５月１１日(月)　～　５月１４日(木)(３泊４日)
場　所　：味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者　：６名　　参加者　：　２４名

(2)中学生・高１研修合宿（ディベロプメント)

都道府県協会に中学生及び高校１年生の優秀競技者の情報提供を依頼し、選手強化委員会の専門グループがセレクションした選手を対象に研修合宿を実施する。

期　間　：令和８年８月２１日(金)　～　８月２３日(日)(２泊３日)
場　所　：味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者　：１２名　　参加者　：　２０名

(3)ジュニアエリート研修合宿

各種競技会の成績を基に、優秀な高校２・３年生をセレクションし、中央にて研修合宿を実施する。

期　間　：令和８年１２月２３日(水)　～　１２月２７日(日)(４泊５日)
場　所　：味の素ナショナルトレーニングセンター
指導者　：８名　　参加者　：　２４名

(4)ジュニアユース研修合宿

都道府県協会よりの優秀競技者の情報及び各種競技会の成績を基に、優秀な中学生及び高校１年生を対象に全国６地区に区分して研修合宿を実施する。

期　間　：令和８年１２月２３日(水)　～　１２月２６日(土)(３泊４日)
場　所　：全国を（北海道・東北、関東、北信越・東海、近畿、中国・四国、九州）
　　６地区に分けて実施する。
指導者　：各地区５名の計３０名　　参加者　：各地区１０名の計６０名

２．２０３２・２０３６年対策競技者発掘・育成事業支援

２０３２ブリスベン、２０３６オリンピック対策として、都道府県で競技者のタレント発掘・育成事業の支援についての財政的支援を行い、優秀選手の発掘のため、オリンピアン等のトップ選手やトップコーチによる講演会等も開催する。

Ⅲ．振興・教育事業

会員の状況及び役員・選手の登録を把握し、競技者規程・競技規則の周知、記録の公認、審判員の養成、国際交流、アンチ・ドーピング活動及びコンプライアンスの徹底等は、競技の透明性や公平・公正性を向上させることに繋がり、安全かつ公正の環境下でスポーツに参画できる機会を充実させるための基礎条件である。スポーツを通じて、他者を尊重しこれらを共同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度等を培っていくためにも重要であることから次の事業を行う。

１．スポーツ外交の推進

2027 年にアジア連盟（ＡＷＦ)、2029 年に国際連盟（ＩＷＦ）の改選が行われるため、日本のＩＦ・ＡＦ役員及び委員会委員が引き続き立候補するために、継続してロビー活動を行う。

２.生涯スポーツの振興

令和９年５月に延期された「ワールドマスターズゲームズ２０２７関西」(開催地徳島県鳴門市）参加を目指し、また、世界での長寿国を目指し健康保持増進の目的で、力強く、楽しく競技を行ってい

る選手がいる。目標を持ち人生においてもウエイトリフティング競技を生涯スポーツとして捉え支援する。また、全日本マスターズ選手権大会を開催する。

3.情報の収集と情報誌の発刊

①ＩＷＦ及びＡＷＦの会議及び大会に代表者を派遣し、情報収集と併せてＩＷＦ、ＡＷＦとの連携を図るため役員を派遣する。

・アジア選手権大会　　（ＡＷＦ関係会議）
　期　日：令和８年　４月１日～４月１０日
　場　所：インド共和国　ガンディナガル市
・世界ジュニア選手権大会　　（ＩＷＦ関係会議）
　期　日：令和８年　５月２日～５月８日
　場　所：エジプト共和国　イスマイリア市
・アジアユース・ジュニア選手権大会（ＡＷＦ関係会議）
　期　日：令和８年８月　７日（土）～８月１４日（日）
　場　所：ウズベキスタン共和国　タシケント市
・世界選手権大会　　（ＩＷＦ関連会議）
　期　日：令和８年１０月２７日～１１月８日
　場　所：中国　寧波市

②スポーツ振興くじの助成を受けて、令和７年度年鑑、会報１５０号、１５１号、１５２号を発刊する。主な内容は次のとおり。

年鑑：令和７年度の協会主催競技会及び主要国際大会の成績
　　協会組織図、協会役員名簿、加盟団体名簿、令和８年度事業
会報：令和８年度行事計画、各種事業報告、大会講評、ブロック大会以上の競技会及び主要国際大会の成績、各種研究成果報告

4.用器具等の検定及び公認

記録競技(重量)であることから、バーベルをはじめ使用器具が適確でなければならない。本協会器具公認認定規則に基づき、高品質で絶対の安全性と機能性のあることを確認する中で申請のあった器具に対して認定手続きをすすめる。

5．顕彰

本協会表彰規定に基づき、功労賞、優秀選手賞、優秀指導者賞の表彰を、また、役員等の感謝状贈呈に関する基準により顕彰を行う。

6.アンチ・ドーピング活動

スポーツ界ではドーピン違反行為によりスポーツの価値を損ない、フェアプレイの精神が欠如しかかっている。競技者の健康を害する反社会的行為であるドーピングに対する啓発と検査実施により撲滅に努め、スポーツのフェア・価値を守る。

①啓発・教育活動

・ＪＡＤＡが作成したドーピング防止ガイドブック(対象者別)を選手、アスリートサポートスタッフに配布し情報を提供する。
・各種競技会前の監督会議にて最新情報を伝達し、啓発・教育活動を行う。

②講習会・研修会、アウトリーチの開催

スポーツ振興くじの助成及びＪＡＤＡの助成を受けて、次の事業を実施する。その際は、協会独自の教材も配布し情報を提供する。

・世界ジュニア代表選手対象講習会
　４月　　味の素ナショナルトレーニングセンター
・全国高校総合体育大会参加者対象　アウトリーチ
　７月３１日～８月３日　滋賀県安曇川高等学校体育館
・ジュニアユース研修合宿参加者講習会
　８月２１日　　味の素ナショナルトレーニングセンター
・大学生研修合宿参加者講習会
　５月　　味の素ナショナルトレーニングセンター

・世界選手権大会代表選手対象講習会
１０月　　味の素ナショナルトレーニングセンター
・全日本社会人選手権大会・全日本女子選抜選手権大会参加者講習会
１１月　　宮崎県小林市小林文化会館
・ジュニアエリート研修合宿参加者講習会
１２月２４日　　味の素ナショナルトレーニングセンター
・北海道・東北地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日
・関東地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日
・北信越・東海地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日
・近畿地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日
・四国・中国地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日
・九州地区ジュニアユース研修合宿参加者講習会
１２月２４日

③ドーピング検査
・日本スポーツフェアネス推進機構、ＪＡＤＡ、ＷＡＤＡ（ＩＴＡ）の下、競技会検査及び競技外検査を実施する。（全日本選手権等で尿検査・血液検査を実施する）。
・日本スポーツ協会が国民スポーツ大会等に行う検査に協力する。

④ＴＵＥ申請大会の指定によるその実践
世界選手権等の国際大会出場者には、ＴＵＥの申請が不可欠である。国内競技会においては徹底されていない状況であることから、次の大会を指定し申請の徹底を図りアンチ・ドーピングの意識高揚を促す。
・全日本選手権大会　　・全日本社会人/全日本女子選抜選手権大会
・国民スポーツ大会（ＪＡＤＡ管轄）

７．審判員の資質向上

①審判講習会の開催
本競技は、判定に対する抗議権がない。判定は公正・公平であり選手に不利益がないように、審判員の資質の向上を目的に次の講習会を開催する。
・対象者：国内１級審判員及び国内１級審判員を受験希望者(義務研修)で、令和７年度講習会に参加できなかった審判員。
東地区　令和８年９月６日（日）　東京都　ＮＴＣ
西地区　令和８年９月６日（日）　兵庫県　明石市生涯教育センター

②国際大会への審判員を派遣
審判員の資質の向上を図ると共に国際基準での競技運営能力の向上に努める。
（ノミネート候補）
・２０２６アジア選手権大会
開催期間　：令和８年４月１日（水）～４月１０日（金）
場　　所　：インド共和国　ガンディナガル市
派遣人数　：　２名
・２０２６世界ジュニア選手権大会
開催期間　：令和８年５月　２日（土）～５月８日（金）
場　　所　：エジプト共和国　イスマイリア市
派遣人数　：　１名
・２０２６アジアユース・ジュニア選手権大会
開催期間　：令和８年８月　７日（金）～８月１４日（金）
場　　所　：ウズベキスタン共和国　タシケント市
派遣人数　：　１名

・２０２６世界大学選手権大会
開催期間　：令和８年９月　８日（火）～９月１２日（土）
場　　所　：カタール国　ドーハ市
派遣人数　：　１名
・アジア競技大会
開催期間　：令和８年９月２３日（水）～９月２９日（火）
場　　所　：愛知県　名古屋市
派遣人数　：　２名
・２０２６世界選手権大会
開催期間　：令和８年１０月２７日（火）～１１月　８日（日）
場　　所　：中国　寧波市
派遣人数　：　１名

８.審判員の審査と認定
申請に基づき公認審判員の審査を行い、適確に認定を行う。

９.競技規則集の更新版の作成と販売
国際連盟のルール改正に伴い更新する。また令和６年度発行の競技規則集を希望者に販売する。

10.インテグリティ教育(ハラスメント行為撲滅活動及び選手・指導者の資質向上)の充実
・指導者及び選手に対して、反社会行為、倫理観等についての教育
・暴力、パワハラ、セクハラ、倫理等に係る研修の実施
次の研修会・委員会・会議、合宿時等を通じて研鑽を深める。指導者には十分注意喚し、軽率な行動を取らない、巻き込まれない、常に競技を考えた行動遵守を選手にも伝達する。
全国指導者研修会
全国高等学校体育連盟ウエイトリフティング専門部全国委員会
全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技会監督会議
全国理事長会議
・インテグリティ教育を選手及び指導者に実施
次の事業時にも教育・周知し、選手・指導者がより高い資質を持つようにする。
代表選手事前合宿または遠征前及び研修合宿時等

11. ホームページの充実整備
法人として公開しなければならない情報はもとより、役員・選手のニーズに合わせた内容及び、一般ユーザーの要望にも応えられるようにする。

12. 記録の公認
競技・競技会規則に基づき、日本記録を認定し公表する。公認の区分は男女同一で、日本記録,ジュニア日本記録、大学記録、高校記録、中学記録である。
また、ＩＷＦの新階級実施が本年８月より、日本は１０月(国スポ以降)より実施されるため、新階級の日本記録設定も行う。

Ⅳ.大会開催事業
１．国内大会開催
競技力の向上、競技の普及・振興、生涯スポーツの振興のため、次の大会を開催する。
① 大会名：第７２回全日本学生個人選手権大会
期　日：令和８年４月２４日～４月２６日
会　場：大阪府羽曳野市　はびきのコロセアム体育館
② 大会名：第８６回全日本選手権大会・第４０回全日本女子選手権大会
期　日：令和８年５月２９日～５月３１日
会　場：愛知県名古屋市　名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」
③ 大会名：令和８年度第５回高校女子競技会
期　日：令和８年７月１１日・１２日

会　場：石川県金沢市　医王山スポーツセンター
④　大会名：第７３回全国高等学校選手権大会・第２７回全国高等学校女子選手権大会
期　日：令和８年７月３１日～８月３日
会　場：滋賀県高島市　安曇川高校体育館
⑤　大会名：第４回小学生交流大会
期　日：令和８年８月９日
会　場：富山県滑川市　滑川市総合体育館
⑥　大会名：第４０回全国男子中学生選手権大会・第２５回全国女子中学生選手権大会
期　日：令和８年８月１０日・１１日
会　場：富山県滑川市　滑川市総合体育館
⑦　大会名：第４４回全日本マスターズ選手権大会
期　日：令和８年８月２７日～８月３０日
会　場：徳島県鳴門市　アミノバリュー体育館
⑧　大会名：第８０回国民スポーツ大会
期　日：令和８年１０月１０日～１０月１４日
会　場：青森県平川市　ひらかわドリームアリーナ
⑨　大会名：レディースカップ第１８回全日本女子選抜選手権大会
期　日：令和８年１１月１９日・２０日
会　場：宮崎県小林市　小林市文化会館
⑩　大会名：内閣総理大臣杯第６３回全日本社会人選手権大会
期　日：令和８年１１月２１日～１１月２３日
会　場：宮崎県小林市　小林市文化会館
⑪　大会名：文部科学大臣杯第７２回全日本大学対抗選手権大会
Ⅱ部
期　日：令和８年１１月２８日・２９日
会　場：大阪府羽曳野市　はびきのコロセアム体育館
Ⅰ部・女子
期　日：令和８年１２月１１日～１２月１３日
会　場：埼玉県上尾市　スポーツ総合センター
⑫　大会名：ＪＯＣジュニアオリンピックカップ第４７回全日本ジュニア選手権大会
期　日：令和９年２月５日～２月７日
会　場：茨城県高萩市　高萩市文化会館
⑬　大会名：第７１回全日本学生新人選手権大会
期　日：令和９年３月４日・５日
会　場：埼玉県上尾市　スポーツ総合センター
⑭　大会名：第２３回全日本学生選抜大会
期　日：令和９年３月６日・７日
会　場：埼玉県上尾市　スポーツ総合センター
⑮　大会名：第４２回全国高等学校選抜大会
期　日：令和９年３月２６日～３月２８日
会　場：山梨県山梨市　山梨市民総合体育館

Ⅴ.会務

本会の目的及び業務を達成するため、次の会議を開催する。

1.社員総会の開催

①令和８年度　定時社員総会
期　日　　令和８年６月２８日（日）
場　所　　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター

②令和８年度　臨時社員総会
期　日　　令和９年３月２０日（土）
場　所　　東京都　日本青年館ホテル

２.理事会の開催

①第１回理事会
期　日　　令和８年６月１３日（土）
場　所　　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター

②第２回理事会
期　日　　令和８年９月１２日（土）
場　所　　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター

③第３回理事会
期　日　　令和８年１２月　５日（土）
場　所　　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター

④第４回理事会
期　日　　令和９年　２月２７日（土）
場　所　　東京都　味の素ナショナルトレーニングセンター

Ⅵ. 財政の確立

各種事業の推進に、独立行政法人日本スポーツ振興センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本スポーツ協会、スポーツ庁、公益財団法人ミズノスポーツ振興財団等に対し、助成金・委託金・補助金等の要望・申請を行い、本会の事業実施への充当財源に努める。

財政基盤確立のため、定款に基づく賛助会員の募集に努める。また、公益法人認定後は、本法人が免税募金を主体的に実施できることから、加盟団体及び関係者に広く募金を呼び掛ける。

・協賛企業の開拓を積極的に行い協賛契約締結の拡大に努める。
・国内大会開催における、大会広告スポンサー獲得に努める。
・免税寄付金の募集
・賛助会員の拡大
・登録者（役員・選手）の増大

Ⅶ. ２０３２年、２０３６年（中・長期計画）に向けて

１．選手強化計画

①　２０３２ブリスベン、２０３６オリンピック対策強化戦略プランに基づく強化の推進
・６年後、１０年後に向けての強化計画である「強化戦略プラン」の作成と実行

②　１０年後の２０３６年オリンピックに向けて
中学生、高校生の育成強化「次世代アスリート育成」事業を推進

③　ＰＣＤＡサイクルの確認に基づく強化の推進

④　指導者の育成

２.競技の普及振興対策

① ５０００人対策プロジェクト推進
・登録選手数（現在：役員１０００人、選手約３５００人）を５００人増やし５０００人を目標とする。
・競技の露出の増大を図る
・メディアとタイアップする
・タレント発掘事業（普及目的事業）を継続して実施する

② 競技会開催による普及対策
・小学生交流大会を開催する

３.組織運営（ガバナンス、コンプライアンス、インテグリティ教育の向上）

① 事務局職員の分業化
② 「スポーツ競技団体ガバナンスコード」に基づく中長期計画の実行
③ 各委員会の充実のため業務執行理事の指導を仰ぐ

４.国際大会の開催準備

競技力の向上、国際大会運営能力の向上及び競技の普及発展を目的とする。特にこれまでの国内国際大会の経験を活かし競技役員の運営力を更に高めて大会の開催準備を行う。

①２０２６日韓中フレンドシップ大会
アジア競技大会のリハーサル大会として行う。
会　期：令和８年５月２９日（金)・３０日（土）
場　所：愛知県　名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」
②令和８年日韓中ジュニア交流競技会の開催
高校生の国際交流大会であり、九州地区及び佐賀県協会を中心に運営を行う。
会　期：令和８年２６日・２７日
場　所：佐賀県　有田町焱の博記念堂
③令和８年「第２０回アジア競技大会(名古屋)」の開催
アジア連盟、愛知・名古屋組織委員会と共に次の事務担当者と綿密な情報を共有し、準備する。さらにアジア連盟テクニカル・デレゲイト(TD)、日本のスポーツコーディネーター、テクニカルオペレーターマネージャー（TOM)、スポーツマネージャー（SPM)、スパーバイザーも設置済みである。
会　期：令和８年９月１９日～１０月４日(ウエイト会期　9 月 23 日～9 月 29 日)
場　所：愛知県　名古屋市中小企業振興会館「吹上ホール」
④２０２７ワールドマスターズゲームズ関西
本来２０２１年の開催であったが、コロナ感染症のため延期となった大会である。徳島県実行委員会ともこれまでも連絡を続け、次に開催する運びとなった。
会　期：令和９年５月９日～５月１４日
場　所：徳島県鳴門市アミノバリューホール